



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2017

7

No. 736



清水チャレンジデー大使と一緒に健康づくり!
チャレンジデーin吉敷

CONTENTS

【トピックス】

総会・代議員会を合同で
開催しました…… 2

インフォメーション…… 5

レポート…… 7

【シリーズ偉人⑧】

内海忠勝と澤山保羅(その一)…… 7

【よしきで輝く】

吉敷こども英語クラブ…… 8

かけはし…… 8

YOSHIKI
DATA

【人口】14,924(前月比+25) 【世帯数】6,201(前月比+13) 平成29年6月1日現在





総会・代議員会を 合同で開催しました

5月12日(金)、地域づくり協議会総会、自治会代議員会、地区社会福祉協議会代議員会を合同で開催しました。会議資料は、地域づくり協議会ウェブサイトに掲載しています。

3団体が一体となって進める 吉敷の地域づくり・まちづくり

吉敷地域では、市が推進する「協働によるまちづくり」として地域課題の解決に取り組むため、「地域づくり協議会」を設置しています。

自治会と地区社協から地域づくり協議会へ財源を集め、3団体が連携しながら一体となった運営に努めています。3団体はこのことを強みに、「笑顔あふれるふれあいのまち」の実現に向けて、様々な活動を展開しています。

地域の団体とおしが力を合わせて

地域で活動している団体は、それぞれの会の目的に沿った活動をしていきますが、地域課題を解決するため、こうした団体とおしが連携しながら、力を合わせて取り組んでいきます。

本号では、3団体の今年度の主な事業と予算概要について、ご紹介します。

平成29年度 事業計画・予算

〈収入の部〉

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
会費	2,880,000	会費600円×4,800戸
助成金	715,000	市道除草業務委託事業
その他	150,000	ホタル増殖事業、緑化募金奨励金
繰入金	1,025,578	前年度地域づくり協議会自主財源残金
繰越金	1,537,316	前年度自治会繰越金
雑収入	1,106	利息ほか
合 計	6,309,000	

〈支出の部〉

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
自治会活動費	130,000	町内会長会、公衆トイレ維持管理ほか
地域づくり活動費	1,030,000	地域づくり協議会へ
広報活動費	170,000	広報委員会へ(自治会負担分)
消防後援費	1,000,000	市消防団吉敷分団後援
道路維持活動費	715,000	市道除草業務委託事業
負担金	1,149,000	地域づくり協議会へ(事務費、人件費)
事務費	370,000	会議費、事務用品、切手代ほか
繰出金	600,000	財政調整積立金
雑費	50,000	慶弔費ほか
予備費	1,095,000	
合 計	6,309,000	

「吉敷自治会」

吉敷自治会は、16の町内会・自治会で構成され、地域住民とおしで助け合って住みよい地域を築いていく大切な役割を担い、活動している組織です。

地域課題の解決に向け 情報交換の場としての「町内会長会」

毎月第1木曜日に、地域住民の最も身近なコミュニティである町内会・自治会の代表者が集う「町内会長会」を開催しています。

地域交流センターから行政情報も得ながら、地域の様々な情報の交換や共有、課題の提議・解決のために、協議・検討を行っています。

吉敷地域の振興のため 自治会活動の推進

安心安全な地域づくりを進めるため、各町内会・自治会単位の自主防災組織の立ち上げを推進しています。

また、地域を守る市消防団吉敷分団の後援活動や、市道の維持管理業務の受託とともに、昨年度から新たに地域情報の発信など広報活動の充実にも取り組んでいます。

市消防団吉敷分団後援



地域住民の安心安全のため、日々活動されている市消防団吉敷分団を後援しています。

市道の維持管理業務



市の委託を受けて、市道の草刈りや清掃作業を行い、道路を安全で良好な状態に維持管理しています。

平成29年度 事業計画・予算

〈収入の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	内 訳
地域づくり 交付金	9,892,000	事業費へ4,679,000 人件費へ4,111,000 事務費へ1,102,000
繰入金	6,020,000	自治会 (事業費1,030,000 人件費649,000 事務費500,000) 地区社協 (事業費630,000 人件費1,857,000 事務費300,000) 地域交流センター運営協議会 (人件費974,000 事務費80,000)
合 計	15,912,000	

〈支出の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	内 訳
地域振興	100,000	ふれあいあいさつ運動、ふれあい標語
	204,000	地域情報発信事業
	200,000	成人式思い出づくり
	1,200,000	地域づくり活動計画・地域福祉活動計画策定
	200,000	人材発掘に向けた交流事業
地域福祉	372,000	大運動会、多世代交流グラウンドゴルフ大会等の開催
安心・安全	60,000	防災検討委員会へ
環境づくり	400,000	カーブミラーの充実、交通安全施設の充実
	150,000	ホタル増殖事業
地域個性創出	880,000	夏まつり、ふるさとまつりの開催
	440,000	広報委員会へ
	1,568,000	文化、環境、交通防犯、人権、青少協へ
	450,000	各種団体事業支援
	50,000	旧出張所・公民館跡地利用検討
	65,000	観劇鑑賞による交流事業
協議会運営	1,882,000	事務費ほか
	7,691,000	事務局人件費(事務局長1名、事務局員4名)ほか
合 計	15,912,000	

「地域づくり協議会」

地域づくり協議会は、地域課題の解決のため、地域づくり活動計画に基づき、各町内会・自治会をはじめ地域内の団体が連携して、様々な事業に積極的に取り組んでいます。

市の地域づくり交付金をはじめ、自治会及び地区社協からの繰入金を財源として活動しています。

地域住民でつくる 地域づくり活動計画・地域福祉活動計画

吉敷地域では、「地域づくり活動計画」と「地域福祉活動計画」を一体的に策定しています。

今年度は、両計画の見直しを行うことから、誰もが吉敷に住んでよかったと思えるよう、地域課題の解決に向け、地域住民が主体となった計画の策定を進めていきます。

文化に着目した 地域づくりの推進

今年度、組織再編された「吉敷地域文化振興協議会」を中心に、吉敷に残る古文書を解説する講座の開催や、今年3月に刊行した地域散策ガイドブック「吉敷さんぽ」を活用したイベント、史跡等の案内板の設置、「肥中街道」に着目した地域散策広域連携事業などに取り組みます。

河川公園の花壇づくり活動



環境づくり推進協議会を中心に、商工会や子ども会等の団体と協力し、花壇を整備しています。

青パトによる見守り活動



交通防犯対策協議会により、下校時間に合わせ子どもたちの安全と見守りを兼ねて青パト巡回を行っています。

これからの地域づくりを担う 人材発掘に向けた交流事業

人を知り、お互いの交流を通して、これからの地域づくりを担っていく新たな人材を広く発掘していくことが喫緊の課題となっているため、昨年度に引き続き、地域交流センターと連携しながら、「アクティブエイジ」と「若者」を対象とした交流事業を実施していきます。

平成29年度 事業計画・予算

〈収入の部〉

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
住民会費	2,400,000	500円×4800戸
市社協助成金	1,211,500	老人福祉行事
	1,645,560	地区社協活動
	114,084	小地区見守り活動
	412,960	福祉員活動、ふれあい型給食、計画策定
共同募金配分金	896,963	地域福祉活動
寄付金	500,000	香典返し、寄付金
繰入金	996,000	事務費(もみじ学級、げんきやかた、ふれあい給食)
繰越金	915,889	前年度繰越金、利息
雑収入	1,044	利息
合 計	9,094,000	

〈支出の部〉

(単位:円)

項 目	予 算 額	内 訳
住民活動費	1,211,500	敬老行事等町内会助成
	170,000	広報活動
	90,000	サロンの運営支援
	120,000	多世代の交流促進
	305,000	地域福祉活動の促進
	100,000	小地区見守り活動の推進
厚生保護費	248,960	民生児童委員協議会・福祉員協議会助成
	630,000	地域づくり協議会へ(事業費)[拡充]
	151,000	福祉団体助成[拡充]
	377,000	ふれあい型給食会活動費
諸費	60,000	弔電、あいさつ状印刷代ほか
負担金	2,501,000	社協会費、バス負担金
事務費	300,000	会議費、事務用品、切手代ほか
雑費	20,000	慶弔費
繰出金	2,157,000	地域づくり協議会へ(事務費、人件費)[拡充]
	300,000	財政調整積立金
予備費	352,540	
合 計	9,094,000	

「地区社会福祉協議会」

地区社協は、吉敷自治会をはじめ、民生委員児童委員協議会や福祉員協議会などの関係団体で構成され、様々な福祉活動を展開している団体です。地域の皆さんや関係団体とともに策定した「地域福祉活動計画」に基づき、住民会費や共同募金配分金などを主な財源として活動しています。

交流で深まる地域のつながり 新たな競技「ベタンク」も取り入れて

今年度も多世代グラウンドゴルフ大会やベタンク交流大会を開催し、地域住民の交流を促進していきます。サロンどおしや子育て支援団体どおし、地域内福祉活動団体どおしの交流を促進し、より一層地域のつながりを深めながら、団体間での連携した事業にも取り組んでいきます。

身近な地域の憩いの場 ふれあいいきいきサロン設置のススメ

地区社協では、誰もが気軽に参加できるサロンの全町内への設置を目指しています。サロン交流会にサロンのない町内会関係者にも参加していただき、設置の検討をお願いしていきます。また、昨年度から新たに地区社協独自で実施しているサロンへの運営支援を引き続き行います。

高齢者生きがいセンター「げんきやかた」



指定管理者として運営にあたっています。社会福祉の増進を図るための施設ですので、積極にご活用ください。

放課後児童クラブ「もみじ学級」



指定管理者として、就労等により放課後保護者による保育ができないお子さんをお預かりしています。

みんなで見守り支えあう 友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)

概ね70歳以上の一人暮らし高齢者等の見守り訪問活動を、町内会・自治会長、民生委員・児童委員、福祉員が中心となったグループにより協力して行っています。今年度は「いきいき百歳体操」を取り入れて、サロンなど各町内での取り組みにつなげていけるよう推進していきます。

イニフオメーラン

夏休み講座

次の①から⑥までの夏休み講座を開催します。ふるってご参加ください！

【一次申込】7月3日(月)～7日(金)

【申込方法】下部の申込書にご記入のうえ、地域交流センターまでお持ちください。電話での申し込みはできません。

一次申込は2講座までとします。なお、全ての講座で先着順となります。

【二次申込】7月10日(月)以降

【申込方法】電話での申し込みも可能です。一次申込期間で2講座申し込まれた方も、3講座以上の申し込みが可能です。

※受付時間はいずれも8時30分から17時15分までです。

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915

①こども絵画教室

【とき】7月24日(月)・27日(木) 9時～12時
※できた人から解散

【場所】地域交流センター 講座室

【講師】佐々木 範子氏(佐畑)

【対象】小学生20名(各回)

【参加費】無料

【準備】筆記用具、クレヨン、色鉛筆、水彩絵具セット、雑巾、絵画の参考にする資料等

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-3915

②親子健康クッキング

親子で楽しめる栄養満点の朝ごはん作りに参加しませんか！

【とき】7月28日(金) 10時～12時

【場所】地域交流センター 調理実習室

【講師】食生活改善推進員

【対象】幼稚園から小学生までの子どもと保護者 15組

【参加費】大人200円 子ども100円

【準備】エプロン、三角巾

③ソーメン流しとすいか割り大会

みんなで夏休みの風物詩を楽しみましょう！

【とき】7月31日(月) 10時～12時

【場所】地域交流センター

【対象】子どもと保護者 30組程度

※小学生未満は保護者同伴

【参加費】3歳以上200円

【準備】そうめん一人一束、箸、お椀

【共催】こどもステーション山口



昨年の様子

④大内塗「箸」づくり体験教室

山口の伝統工芸「大内塗」を体験しませんか？オリジナルの「箸」を作りますよ！

【とき】8月1日(火) 10時～12時

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】山口ふるさと伝承センター職員

【対象】小学生25名

※1、2年生は保護者同伴

【参加費】300円

【準備】汚れてもよい服



昨年の様子

⑤こども陶芸教室

世界にたった一つのオリジナル茶碗や湯飲み作りに挑戦してみませんか！

【とき】8月7日(月) 10時～12時

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】田口潤氏(中尾西)

【対象】小学生15名

【参加費】300円

【準備】汚れてもよい服装、絵皿に描く絵の手下となる資料等



⑥電気工作教室

マイナス19.6℃の世界を体験してみませんか？LED電球が光るLEDコースター「コマ」を作りますよ！

【とき】8月17日(木) 10時～12時

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】中国電力山口営業所職員

【対象】小学生(4～6年生) 25名

【参加費】100円

【準備】はさみ、カッター、定規、のり



昨年の様子

＜夏休み講座申込書＞

氏名	(第 学年)
保護者氏名	
住所	山口市
電話	() -
希望講座番号	

※複数必要な場合は、コピーしてお使いください。

子育て講座(小児救急)

子どもの死亡原因の第1位は溺死や窒息等の不慮の事故だそうです。いざという時に子どもを守る小児救急について、一緒に学びましょう!

【とき】7月7日(金)10時~12時

【場所】地域交流センター 和室

【講師】市消防本部職員(救急救命士)

【対象】未就園児と保護者 20組(先着順)

【託児】有(要申込み)

【参加費】無料

【準備】動きやすい服装

【主催】母子保健推進員、つどいの広場

【楽楽楽】市保健センター

【申込・問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-13915

母子相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関する事など、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。お越しの際には、母子健康手帳をお持ちください。

【とき】7月12日(水)13時30分~14時30分

【受付時間】

【場所】地域交流センター 和室

【申込】不要

【問い合わせ】市保健センター

☎083-921-2666



夜間巡回

青少年の安全確保・非行防止のため、夏休み期間中に青少年健全育成協議会による夜間巡回を実施します。

【期間】7月14日~8月19日の金・土曜日の夜間(お盆は除く)

【問い合わせ】青少年健全育成協議会

☎083-922-13915

あっちこちdeアート2017

①人形芝居「あなたがうまれるまで」

②舞台劇「ゆらとまあばあちゃん」

【とき】①7月15日(土)14時30分開演

②7月21日(金)18時開演

※各回15分前開場

【場所】地域交流センター 講堂

【参加費】限定チケット各公演1枚500円

※吉敷地域にお住まいの方(両公演あわせて先着1300枚)

【主催】こどもステーション山口

【共催】地域づくり協議会

【申込・問い合わせ】地域づくり協議会

☎083-922-13344



やまぐち車座トーク21 吉敷

今年度も地域の皆さんと市長が直接対話を行う「やまぐち車座トーク21 吉敷移動市長室」を開催します。

【とき】7月31日(月)18時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【申込】不要

【内容】市政報告、意見交換

【問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-13915



7月の予定

7日(金)	子育て講座(小児救急)
12日(水)	母子相談
15日(土)	あっちこちdeアート2017
20日(木)	ふれあい給食
21日(金)	あっちこちdeアート2017
24日(月)	こども絵画教室(第1回)
27日(木)	こども絵画教室(第2回)
28日(金)	親子健康クッキング
31日(月)	ソーメン流しとすいか割り大会 やまぐち車座トーク21 吉敷

8月の予定

1日(火)	大内塗「箸」づくり体験教室
7日(月)	こども陶芸教室
13日(日)	よしき夏まつり
17日(木)	ふれあい給食 電気工作教室

今月のぶっくん(移動図書館)
【とき】7月7日(金)、21日(金)
【時間】15時20分~16時
【場所】地域交流センター 駐車場



昨年の車座トーク様子

レポート

ほとんど母の愛情でできてます♡

5月17日(水)、「ベビーマッサージ&カフェ」を開催しました。澤野佑希氏を講師にお招きし、お母さんはマッサージを体験。赤ちゃんは愛情溢れるお母さんの手の平がやっばり一番気持ちよさそうでしたよ。



新メンバーも続々！男の料理道！

5月26日(金)、「男性料理教室」を開催しました。今回のミッションは野菜の甘酢炒めと豆苗炒め。新しいメンバーも参加し、楽しく豪快に作りました。次回の教室は来月2月。さらに新しい参加者をお待ちしています！



天然記念物ゲンジボタルを採取

5月30日(火)、吉敷川護岸で天然記念物ゲンジボタルを採取しました。良城小学校ホタル委員会の児童と増野校長先生、乾・手嶋教頭先生をはじめ多くの先生方、保護者、地域の方々が参加しました。

採取したホタルは小学校の飼育小屋で大切に育てられ9月の「ホタル放流の集い」で放流する予定です。今から楽しみですね。



恋ダンスで健康づくり♪

5月31日(水)、「チャレンジデーin吉敷」を開催しました。清水直行チャレンジデー大使を迎え、会場は大盛り上がり。みんなで「恋ダンス」にも挑戦。対戦相手の東京都柏江市に見事勝利しました。参加・協力いただきました皆さん、ありがとうございました。



シリーズ 偉人 8

内海忠勝と澤山保羅 (その一)



澤山保羅

「子息は鼓手ならえよ。」という内海忠勝の一言で、澤山保羅は、最年少の一四歳で、幕末に四境の役(雲州口)に出陣し、内海率いる良城隊の鼓手として隊の士気を大いに鼓舞した。

明治二年、一七歳で兵庫県庁の内海を頼って神戸に出た澤山は、内海方に身を寄せ、彼の世話でキリスト教宣教師から英語を学び、内海が神奈川県大参事に栄転すると内海に呼び寄せられ横浜の自宅に赴いた。内海は、病気がちな彼の体をいたわり、横浜から乗船する澤山の渡米を助けた。

明治五年、目的地のエバンストンに着いた澤山に内海は、「第一、苦しさに耐えること。第二、よく働くこと。第三、文字と言葉を知って初め

て心が通じ合い、自由に交際できるのではありません。第四、決してアメリカ文明の表面だけにとらわれてそれに溺れないよう、新しい日本のために役立つ、大切な根本のところに眼を向けて学んでもらいたい。」という手紙を送っている。

澤山は留学中に、キリスト教の洗礼を受け、明治九年帰国した。

一段落し、澤山が、大阪府参事の内海宅に挨拶に行つた際、内海は「君は教育に関心が深く、その情熱と知識と英語の力を生かして新しい日本のために働いてもらいたい。月給一五〇円にはなるよ」と、政府の役人になることを勧めたが、澤山は伝道者の道を選んだ決意を述べ、月給七円の厳しい道を選んだ。

その後、大阪浪花教会を創立して初代牧師となり、梅花女学校(現梅花学園)を創立した。

在任中は、相次ぐ両親の死に耐えて、伝道と女子教育に献身し、明治二〇年、三四歳の生涯を終えた。吉敷佐畑の生家跡に誕生碑がある。

(吉敷赤田平和生 著)

吉敷こども英語クラブ

DATA

【活動日】 第1、第2、第3月曜日
【活動場所】 地域交流センター 講座室
【会員数】 18名

地域交流センター登録団体等を紹介するコーナー「よきで輝く」。

今や日常生活で英語に接する機会が当たり前になっている。グローバルな時代の中で、「英語」というコミュニケーションツールは、大いに自分の可能性を広げる強みになるだろう。今回は「吉敷こども英語クラブ」を紹介する。

英語クラブは、6年前から地域交流センターで始まり、吉敷下東在住の友森美奈子さんと、アメリカカリフォルニア州出身のブライアン・グラシックさんが講師をしている。身長190cm超のブライアンさんは、陽気な人柄で子ども達から大人気だ。小学校では、基本的に5、6年生が英語の授業を受けるが、英語クラブでは1年生から入り、学ぶことができる。しかも授業中は原則全て英語がルールだ！

せっかくの機会なので子ども達に将来の夢を、それも英語で聞いてみる。『I want to be a cabin attendant. (客室乗務員になりたい)』や『I want to be a librarian. (司書になりたい)』と流暢な英語で教えてくれた。

また、英語クラブに入った理由を聞いてみると、「将来、海外のサッカー選手になりたいから英語が必要。」とか、「将来、外国人に外国



一緒に楽しく英語を学びましょう！

語を教える先生になりたい！」と超ビッグなドリームを語るなど、彼らの発想は、小学生ながら、すでに世界に目が向いているのだ。

友森さんは、「ともすれば日本人は引込み思考なところがあります。ここでは英語を通して、失敗を恐れずに挑戦する、素直で積極的な子ども達を育てたいと思っています。授業も英語で行うことによってメンバーの仲もすごく良いですよ」と語る。

『I want to be』の夢を持ちながら、今日も英語に挑戦する子ども達の瞳は、とても輝いて見えた。

「一斉清掃に参加して」

先日の早朝、町内で水路の一斉清掃が行われました。

およそ八百人が集合、手分けして土石を浚い、袋に積めていきました。また、側溝に生えた草や落ち葉は、別の袋に入れました。それを一輪車で集積所に運びました。

一部の人は、子どもを連れて吉敷川の草刈りや草抜きに参加しました。

予定の一時半があつという間に過ぎ、すっかりきれいになりました。

また、作業をしながら、隣人とのあいさつや会話もはずみ、汗びっしょりで帰る頃には、心もすっきりし、その日一日を澄んだ気分で過ごすことが出来ました。

昔の人たちは、「溝さらい」や「道晋請」と言って、村人総出でこんなふうに行なっていたそうです。

それは、地域の環境は自分たちの手で守るべきと考え、川や道を敬い感謝する気持ちを大切にしてきたのだと聞きました。

最近、「市の仕事、行政の役割だ」と言う声も聞きますが、やはり、今後もよき伝統として残していきたいと思いました。

広報委員 小田秀昭

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)

☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会

☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)

☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト

<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索